

OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 何 沁怡
所属 (School) 経済学部経済学科
学年 (Grade) 4年

留学先 (Name of overseas institution)
Université Le Havre Normandie
留学期間 (study abroad period)
2022/9/1~2023/1/17

記入日 (Date) 2023/2/7

留学レポート Study Abroad Report

Bonjour! 私は2022年9月から2023年1月までの5ヶ月間、フランスのル・アーヴル・ノルマンディー大学に留学しました。このレポートでは留学先の様子について詳しく紹介していきたいと思います。

●きっかけ

私がこの交換留学プログラムに参加した理由は、ル・アーヴル・ノルマンディー大学で学ぶことが自分の語学スキルや異文化理解力の向上につながると感じたからです。私は、旧大阪市立大学の国際交流団体に所属していて、留学生との交流を通じてもっと語学スキルと異文化理解力を向上させたいと思うようになりました。そして、色々な交換留学プログラムを調べていく中で、ル・アーヴル・ノルマンディー大学では、英語で開講される授業が充実しているだけでなく、外国人留学生のためのフランス語コース (FLE course) と、フランス語以外の各種語学クラスも充実していることがわかりました。よって、この大学で自分の語学スキルが複数言語に触れることで多面的に深められるのと、国際交流に興味がある現地の学生が多い環境を通して異文化理解力の向上につながると考えて、自分の求めることをすべて満たすこのプログラムに申し込みました。

●住居や日常生活

私は Labedoyere という学校にとっても近い (徒歩5分) 学生アパートに住んでいました。面積は30㎡で、家賃は399ユーロ/月で、一人暮らしでした。中身はとてもシンプルで、ベッド、机、クローゼットなど基本的な物は揃っていました。同じアパートに同時期に留学で来た韓国留学生が6人も住んでいたので、何か困ったことがある時はお互いを助けながら生活できました。周りに知り合いの留学生がいっぱい住んでいて恵まれている環境だと感じました。私のアパートの近くでは、Lidl というスーパーがありましたので、普段はそこで日用品や食料を購入しました。ル・アーヴルでは、Docks と Coty というメインの2つのショッピングモールがあるので、ショッピングはそこでしました。一番びっくりしたのは町中では英語を話さない人が多かったです。最初はレジなどで苦労しましたが、慣れると聞かれる質問がわかって来て、だんだん簡単なフランス語で答えられるようになりました。

●授業

私は FLE という留学生のためのフランス語の授業を週に3回受けていました。留学に行くまでは一回もフランス語について勉強した事がなかったので、初心者向けのクラスに所属し、アルファベットなど基礎的なフランス語から勉強をしました。先生はすごく親切なフランス人男性で、毎回の授業がとても楽しいです。授業は会話練習を中心に進み、例えば、カフェでの注文の会話練習など、とても実用的な内容でした。他には英語で開講される授業を4つ取っていました。1つ目は Litteature GB という英米文学の授業で、The Vicar of Wakefield という牧師の生活についての本と一緒に読んでいく授業です。先生は英語とフランス語を交えながら授業をするので、フランス語で解説される時はわからなかったが、クラスメイトが助けてくれました。2つ目は International Trade という国際貿易の授業で、いろんな国の貿易の例を紹介しながら国際貿易の概念を解説する授業です。いっぱい専門用語があってとても難しいと感じました。3つ目は Civilisation US というアメリカ文明の授業で、アメリカの政治や歴史を勉強します。大講堂で授業をした後、教室で少人数のグループに分かれて議論を深める授業方式です。例えば、アメリカ独立戦争について大講堂で勉強し、アメリカ独立宣言の中身を少人数のグループで読解しました。4つ目は Production orale という授業で、毎回あるトピックについての演説動画を見て、3~4人のグループでディベートする授業方式です。例えば、安楽死に賛成するかどうか、幸せの定義などについて議論しました。グループのメンバーと議論を通して仲良くなれるの

で、この授業が一番好きでした。

●イベント

ル・アーヴル・ノルマンディー大学では留学生向けに沢山のイベントが開催されます。例えば、9月では、FLEの先生が企画したル・アーヴルの一周ツアーがありました。午前はEglise Saint-Josephというル・アーヴルで有名な教会に行き、お昼はLa plageという綺麗な海辺でご飯を食べて、午後は市立図書館を参観しました。イベントのおかげで沢山の留学生と友達になれました。10月では、Rentrée du Campusという運動会のようなイベントがありました。ルアーヴルにある各大学からそれぞれ学生チームが派遣され、種目ごとに競技をしました。例えば、アーチェリー、綱引きなどがありました。私は大学の留学生チームの一員として参加し、同じチームになった留学生たちと仲良くなることができました。11月では、FLEの先生が主催するモンティヴィエ観光に参加しました。モンティヴィエの市場で買い物をしてフランス語の練習をしたり、ロマネスク様式とゴシック様式が合わさって作られたユニークなモンティヴィエの教会を観光したりしました。このようなイベントで沢山のひと々と出会い、イベント後でも一緒に遊びに行く仲になりました。積極的にイベントに参加して本当に良かったと思います。

●休日と長期休暇の過ごし方

休日はル・アーヴルで知り合った友達と過ごすことが多かったです。例えば、大学主催のイベントで知り合った友達の家に泊まりに行き一緒にケーキを作ったり、日本語を勉強しているフランス人学生とカフェで会話練習を一緒にしたりしました。友達とTER電車やバスを使って近くの観光地へ日帰り旅行にも行きました。例えば、断崖が有名なエトルタ、歴史を感じさせるルーアン大聖堂、モンサンミッシェルなどに行きました。また、10/29~11/6は大学で長期休暇があったので、この期間を利用して友達とフランス周辺の国へ旅行に行きました。スペインのマヨルカ島、イタリアのミラノ、ドイツのケルンとオランダのアムステルダムを観光し、最終日に少しパリ観光もしました。国によって雰囲気や文化が違って、それぞれの文化を体感できたのが本当に良かったです。例えば、ゴシック様式の建築物の中で一番代表的なドイツのケルン大聖堂を実際に見ることができたり、オランダのザーンセ・スカンス風車村のきれいな風景を体感することができたりするなど、すごく印象に残る旅行でした。国と国の移動は飛行機とバスを使いましたが、一回の運賃が数千円から高く二万円まででしたので、思っているより安く、気軽に移動できます。皆さんもヨーロッパへ留学する機会があったらぜひ長期休暇を利用して周辺の国々を観光してみてください。



(友達とカフェ)



(友達とホームパーティー)

●最後に

留学で楽しかった思い出がいっぱいできたのと同時に、ホームシックになったり、トラブルに巻き込まれたりするなどつらいこともありました。その時に自分を支えてくれた国際センターの皆さん、先生、家族や友達に感謝しています。今振り返るとつらい時も含めて留学のすべてが貴重な体験になり、この留学を経験したからこそ目的である語学スキルや異文化理解力を上達させることができました。また、留学を通して様々な価値観や背景を持つ人々と出会い、日本では出会えなかった友達が沢山増えました。勇気を出して留学に行っただけ良かったと思います。今はコロナ禍で留学に行きにくい環境で、留学に行くかどうかを悩める方も沢山いらっしゃると思いますが、必ず自分にとって成長できる部分がありますので、ぜひ勇気を出して留学に行ってみることをおすすめします。このレポートが少しでも皆さんの参考になれば幸いです。最後までお読みいただきありがとうございます。